

後志教育

No.32

後志教育研修センターだより
平成22年11月12日発行
TEL0136-22-1337
FAX0136-22-2681

研修センターホームページの充実

予算の関係で研修センター所報「後志教育」が休刊になり、センターの情報を発信する手だてとして、センター便りの発行を考え取り組んできました。

更に、今年度 研修センターの業務内容の中で大きく変化してきたのは、ホームページの充実であったと実感しております。昨年度までは、広報担当主事がいましたが、兼務所員という立場であることから、業務が錯綜し、このことについての取り組みができなかったという現状がありました。

昨年の後半から、パソコンについて熟知している庶務主事の沼田さんがホームページの分野を担当するようになり、内容の改善を図ってきました。この一年アクセス数が鰻登りに伸びて来ており、皆さんとセンターが身近になっていくように思われます。アクセス数は11月8日現在7153件となっております。(1月27日4997件)

改善の内容はとして次のことに取り組んできました。

○トップページの工夫

- ・研修センター行事カレンダー3ヶ月分の掲載。

このことは、研修講座の日時の確認、教育機関団体への貸し館状況の把握等に役立っている。

- ・研修講座の様子を掲載。

講座の様子を写真、アンケートとの内容と一緒に、受講生の皆さん一度アクセスして

- ・新着図書一覧の掲載

センターで購入している研究図書を一覧にして紹介。そのほかDVDも購入。先生方には是非活用を

- ・調査研究事業の取り組み状況の掲載。

センター所員(社会教育を含む)の研究内容を

- ・センター便りのPDFを掲載
- ・管内のすばらしい教育実践の紹介
- ・後志にふさわしい写真の掲載。



道研からも好評を頂いており、庶務主事の評価も一段と高くなっております。これからも内容の充実に心がけていきます。皆さんも是非活用のほどよろしくお願ひします。アクセス願ひます!インターネットのお気に入り欄に入れておいて下さればすぐにアクセス可能です。

※ こんなことも

胆振管内の方から、夏に実施している教育講演会の講師(千石涼太郎氏)について、また、岩内高等学校からも水谷 修氏についての問い合わせがあったことから、ホームページが活用されていると感じ取りました。

「研究成果報告会」のお知らせ

研修センターでは、調査研究事業を推進するために、所員を3つの委員会に分けて研究を進めてきております。学習指導に関する委員会、校内研修に関する委員会、社会教育に関する委員会がそれに当たります。

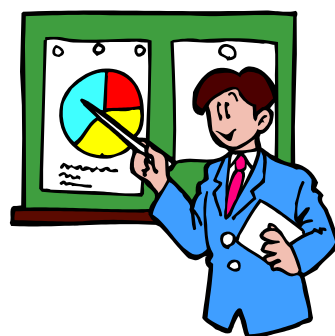
その調査研究の内容は、それぞれ研究紀要にまとめたり、ホームページで知らせたりして管内の教育委員会や学校に伝えておりました。

反面、所員が研修センターで日頃どんな研究をしているのか、また、その内容等が見えづらく、研究紀要を発行するだけになっているという指摘もあるようです。

そこで、今年度から調査研究のまとめの時期に研究成果報告会を開いてはどうかという意見が所員の中から出てきており、手始めに次のように報告会を始めようと計画しております。

2010年「研究成果報告会」

- 日 時 平成23年2月10日（月）14：00～
- 会 場 後志教育研修センター 第一研修室
- 参加者 所員並びに所員の所属町村教育長・学校長等
- 内 容 調査研究事業の概要報告（10分）
各研究委員会からの報告
学習指導（20分）、校内研究（20分）、
社会教育（20分）



研修センター行事予定（11月～12月）

- 11月15日（月）組合教育委員会 13：30～
- 11月24日（水）第2回所員会議・講座企画会議
14：00～
- 12月1日（水）パソコン事前研修 14：00～
センター第2研修室

研修センター研究
図書も充実してき
ております。俱知安
にお越しの際は
研究室にお立ち寄
り下さい。

研修センターへのご協力に感謝いたします。

研修講座も残り1講座になりました。11月に入り、来年度に向けてのいろいろな会議が予定されております。組合教育委員会、第二回所員会議、研修講座企画会議等がそれに当たります。それらに向けて各学校へ来年度研修講座講師の推薦、教育機関・団体へ研修講座内容等企画立案についての依頼をしておりました。

各学校からの講師の推薦については、管内（小樽市を含む）の学校からのべ90名の推薦をいただきました。心から感謝申し上げます。

また、企画立案の依頼については、それぞれの教育機関団体の定例の会議の中で決められているという話もありました。大変ご迷惑をおかけいたしました。例年の会議で決めるところはそれでよろしいと考えております。